

お詫びと訂正

『初級簿記セミナー』第1版第1刷について、以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

株式会社中央経済社

ページ数	訂正前	訂正後
iv、勘定科目一覧表の下の注	※印の商品売買の処理方法には、分記法と三分法があり、それぞれの関係する勘定科目を記載している。	※印の商品売買の処理方法には、「商品」勘定と「商品売買益」勘定を用いる分記法と「仕入」勘定、「売上」勘定および「繰越商品」勘定を用いる三分法があり、それぞれの関係する勘定科目を記載している。
p.11、例4、問題文2行目	<u>商品売買益</u> ￥150,000	<u>売上高</u> ￥150,000
p.11、例4解答	<u>商品販売益</u> 150,000	<u>売上高</u> 150,000
p.11、例4解説	<u>商品売買益</u> ￥150,000 + 受取手数料 ￥30,000 = 収益 ￥180,000	<u>売上高</u> ￥150,000 + 受取手数料 ￥30,000 = 収益 ￥180,000
p.44、解答：精算表	損益計算書の貸方合計 <u>155,000</u>	<u>125,000</u>
p.88、例4解答	(借) 仕入 1,000 <u>仮払法人税等</u> 100	(借) 仕入 1,000 <u>仮払消費税</u> 100
p.89、例7解答	(借) <u>未払消費税等</u> 200	(借) <u>未払消費税</u> 200

以上